

マキバノハナヅノ保存募金のお願い

私と金一さんの付き合いは2013年4月に始まりました。震災翌年の2012年にNPO法人ふくしま再生の会と佐須地区で実施した田んぼの除染実験の結果を受けて、さらに放射線量の高い小宮地区の田んぼで実験させてほしいとお願いしたのがきっかけでした。

その時から大学院生やNPO法人の関係者が足しげく通うようになりました。そうしたいろいろな人との出会いに感謝の意を表したいという思いから、金一さんの「マキバノハナヅノ計画」が生まれ、ひとり黙々と花を植えてきました。今では毎年多くの方々が美しい花々を見るために訪問するようになってきています。しかし、この花たちは金一さんの手弁当で管理されています。

そこで、皆様へのお願いです。

マキバノハナヅノを維持管理するためにいくらかのお心遣いを頂けましたら幸いです。

集まったお金は肥料やトラクターの燃料代などに使わせて頂きます。

よろしくご協力を賜りますようお願い致します。



自称マキバノハナヅノ保存会代表

溝口勝（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）